

2025年度 ニチキッズさわやか勝どき6丁目保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年1月5日（月）～1月30日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2026年2月10日（火）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ、おもいっきり学ぶ」の保育理念に基づき、子ども一人ひとりを大切にする保育の実践力向上を目指し、外部研修および園内研修を計画的に実施した。学びを職員間で共有し、日々の保育の振り返りを重ねることで、一人ひとりの気持ちをより丁寧に受容する関わりへとつなげることができた。
子どもの発達援助	研修を通して発達理解を深めたことで、子ども一人ひとりの育ちに応じた援助や環境構成を工夫することができた。職員間で継続的に情報共有を行い共通認識を持って関わった結果、子どもが安心して過ごし主体的に活動に取り組む姿がより多く見られるようになった。
保護者に対する支援	送迎時には日々の様子や成長した姿を具体的に伝えることを意識し、保護者との丁寧な対話を重ねた。さらに、保育参観・保育参加・個人面談・発表会等を通して子どもの育ちを多面的に共有する機会を充実させることで、成長を共に喜び合い、信頼関係をより一層深めることができた。
保育を支える組織的基盤	園内研修の内容を充実させ、定期的な職員会議と連動させながら専門性の向上を図った。今年度は外部研修にも積極的かつ多数参加することができ、その学びを職員間で共有・検討することで、保育実践の見直しや改善につなげ、園全体の保育の質向上を図ることができた。

総評
園内外の研修を計画的に充実させ、学びを組織的に共有・実践へと反映させる体制を強化した一年であった。職員間の連携と共通理解が一層深まり、子ども一人ひとりの発達や思いに寄り添う保育の質を高めることができた。また、保護者との丁寧な情報共有を通して信頼関係も深化し、園としての専門性と組織力の向上が見られた。今後も継続的な学びを通してさらなる充実を目指していく。